

イエスさまのように 認め合い、仕える子どもを目指して



巻頭言 校長 小原義信

存在を貴ぶ

あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

「オリンピック・イヤーのはじまりです。」と昨年、この紙上でご挨拶申し上げましたが、コロナ禍でオリンピックをはじめ、あらゆる計画、企画、生活、そして考え方もひっくり返ってしまいました。感染拡大が続く現在も、これからどうなっていくか先が見えない、先が決められない状況は続きます。

年始の新聞を見ていますと、新型コロナウイルスの感染拡大による不安や窮屈なニュースに並んで、コロナ禍にあっても前向きな姿、自分の足をしっかり地につけた生き方をしている姿、今まで経験したことがない状況を臨機応変に対応している姿、等々、明るく希望を感じる記事にいくつも出会うことができました。(年末に三育の子どもたちが希望をもたらすような漢字を選んでいったように)

私たちは、生き、学び、働いていると、「やる」こと、「する」こと、あるいは「できる」ことに囲まれていきます。また、「何とかしないと」と日々奮闘しているのも現実です。そのうちそれらは、「やるべき」こと、「するべき」こと、「できるはず」へと発展していきます。能動的に生き、努力することは大切ですし、そうやって人は成長していく一面を持っています。

ある女性が第一子を出産した頃、様々な悩みがあり苦しんでいました。その時その女性の母親がかけてくれた言葉が、「流れに身を任せてごらん」でした。……自然との調和のように、じたばたしないで、力を抜いて様子を見してみる。失敗したり悩んだりした時も、ありのままを受け止めてみる。俯瞰して自分の状況を落ち着いて見てみる。すると、自分の気持ちや姿がよくわかってきます。(元日の沖縄タイムスの「言葉のチカラ」の記事より)

校訓 「だから、何事でも人々からしてほしいと望むことは、人々にもその通りにせよ。」



(日本テレビのネット配信からスクリーンショット)

命の誕生には様々な医療の手当や助産過程・助産管理があることによって、安全に出産できるのは事実です。同時に、「命の誕生は奇跡であり不思議なことだらけ」「最後は母子の生命力に委ねられる」と多くの医療者も言います。

前述の「流れに身を任せる」とは、「やる」こと、「する」こと (do)、あるいは「できる」こと (cando) には限りがあるが、存在 (be) そのもの (出産の場合は母子) に価値があり、やれること、できること以上に、存在 (be) そのものを貴び、あとは自然に任せる、神様の導きに委ねる、ということではないでしょうか。

聖書の人物の多くは、何かの役目や動きを神様から依頼されたとき、あるいは招聘されたとき、そんなことはできない、そんな器ではない、と初めは拒否したり、自己否定したりしました。しかし、「あなたの存在は貴い、私が共にいるのだから可能だ」と神様は宣言し不可能を可能にしてきました。彼らを通して、彼らを用いて希望と光を聖書の中で示されています。

人が難しいと思う時に、神様はその人をあえて用いようとされます。その人がやれる、できると思っているからではありません。その人の存在を貴び用いたいと思っておられるからです。時には小さな子どもを、時には病床にある人を、時には年老いた人を用いられます。新しい年、私たちはあらゆる場面で希望と光を見出すことができることでしょう。

「あなたは私の目に貴く、重んじられる。……恐れるな。私はあなたと共にいる。」

イザヤ書 43:4,5

ご家庭の上に神様からの祝福が豊かにありますようお祈り致します。

◇ 5年生修学旅行

1月13日(水)～15日(金)

5年生が修学旅行に出かけます。以下、県内の各所で体験や研修をします。そのための準備や事前学習に取り組んできました。思い出をたくさん作って帰ってくることでしょう。天気、健康、安全、コロナの感染から守られますようにお祈りをお願いいたします。

主な内容、訪問先

- ・ 沖縄平和祈念公園、平和祈念資料館
- ・ 沖縄ワールド
- ・ 首里城、国際通り
- ・ 美ら海水族館
- ・ マングローブカヤック体験(億首川)
- ・ お菓子御殿(紅いもタルト作り体験)
- ・ 宿泊 一泊目 サザンビーチホテル(糸満)
二泊目 かりゆしリゾートホテル(恩納村)

◇ 2021年度児童募集について

第二回目の入試選考を1月24日(日)に予定しています。願書受け付けは7日から始まっています。入学を希望しておられる方や関係する方にご案内くださるようお願いいたします。これまでの皆様のご協力に感謝いたします。

◇ 漢字検定日 1月28日(木)

算数検定日 2月12日(金)

申込みは既に締め切られています。

受験者は、スクールバスに乗ることができませんので、全員お迎え(または放課後クラブ利用)をお願い致します。

◇ 新型コロナウイルス感染予防について

冬休みも毎日の健康観察と記録にご協力くださりありがとうございます。引き続きこれまで同様、うがい、手洗い、または手の消毒、マスクの着用、三密(密集、密閉、密接)を避ける等の感染予防にご協力をお願いいたします。

また、風邪症状や体調不良、発熱等がある場合は登校を控えてくださるようお願いいたします。これは、感染予防の観点と、風邪をひいて我慢や無理をするのではなく、初期段階のうちに静養し完治させるという、新しい生活様式の観点からでもあります。

窮屈な思いや不便・不自由な生活は続きますが、一緒に乗り越えていきましょう。

【 学校目標 】

<年間>

『イエス様のように』

～寄り添い認め合う子どもをめざして～

<3学期>

イエス様の姿をあらわす子ども

<1月の目標>

良い決心を行いにあらわす子ども

<1月の暗唱聖句>

「主の掟と戒めと法と定めを守れ。そうすれば、あなたは何を行っても、どこに向かっても、良い成果を上げることができる。」

列王記上2章3節

新年最初の聖書の言葉は、ダビデの後年の言葉です。彼の経験は、神からの祝福と共に、自分のあやまちにより自分の赤子を失う、また、ダビデの命を狙い謀反を起こす愛する息子の喪失と艱難辛苦の連続でもありました。その彼の後世への言葉は「恨みや感謝」ではなく「神の法と掟に従うことで得る良い成果」についてでした。

2021年はどんな一年になるでしょうか。人は、明日を知りえません。しかし周りの状況に左右されずに良い戒めに従う決心をし、それを行いに表すことで天よりの成果を頂きたいと思うのです。皆様のご多幸を心からお祈り致します。

チャプレン 植田祐幸